

二酸化塩素によるアルマイト処理アルミニウムの腐食テスト

実施日：平成 22 年 10 月 21 日 ~ 10 月 29 日

実施者：株式会社リンクス／藤田

目的：二酸化塩素ガス及び二酸化塩素水溶液によるアルマイト処理アルミニウムの金属腐食を確認する。

薬 剤：①二酸化塩素ガス発生ゲル剤（195 g）

②二酸化塩素ガス溶存液（100ppm）

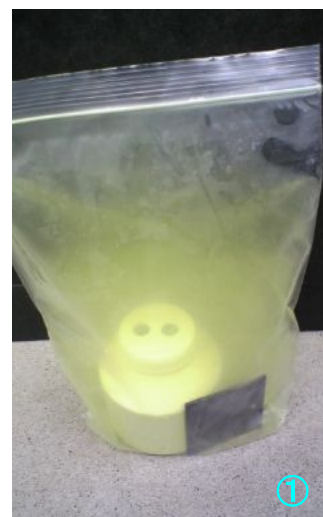
アルマイトは、アルミニウムの陽極酸化皮膜である。また、その加工（処理工程、作業）の事を、陽極酸化処理、アルマイト処理と呼ぶ。アルミニウムの耐食性、耐摩耗性の向上、及び、装飾その他の機能の付加を目的として行なわれる。 （ウィキペディアより引用）



二酸化塩素ガス発生ゲル
と金属サンプル（青紫）



ポリエチレン袋の中に二酸化
塩素発生ゲルと対象金属を一
緒に入れる。



1日目：金属部に腐食は確認で
きない。



二酸化塩素ガス溶存液
と金属サンプル（白）



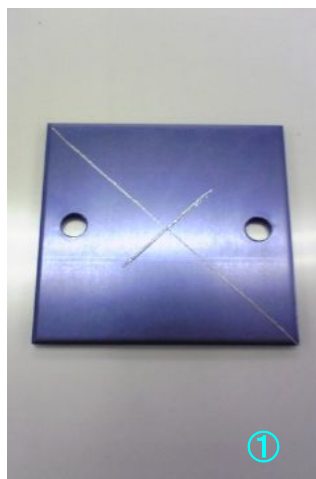
二酸化塩素溶液に対象金属を
浸漬する。



1日目：金属部に腐食は確認で
きない。



7日目：金属部に腐食は確認できなかった。



7日目：アルマイト処理部分にカッターでキズを付けてテスト継続。



7日目：二酸化塩素ガス発生ゲル剤はそのまま使用。



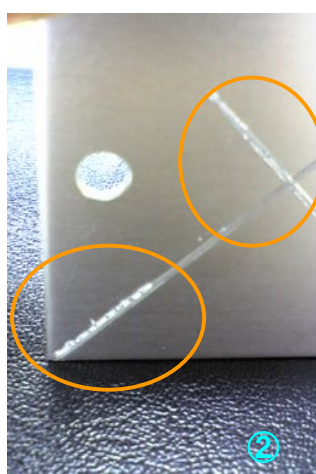
7日目：金属部に腐食は確認できなかった。



7日目：アルマイト処理部分にカッターでキズを付けてテスト継続。



7日目：二酸化塩素ガス溶存液は新しいものに交換した。



【テスト結果】

8日目：各対象金属にキズを付けた部分から腐食が確認された。アルマイト処理部分には金属腐食は確認できなかった。
金属（アルミニウム）が剥き出しになると二酸化塩素によって腐食する。

上記腐食確認テストの結果は、二酸化塩素製剤をアルマイト処理したものに使用した際に“腐食しない”ということを補償するものではありませんのでご注意願います。